

会議結果報告書

令和3年6月21日

会議の名称	令和3年度第1回志木市健康づくり市民推進協議会
開催日時	令和3年6月17日(木) 午後1時30分～2時50分
開催場所	健康増進センター 2階 ホール
出席委員	山下和彦会長、中村勝義副会長、宮本日出委員、田中節子委員、 宮原賢子委員、宮下博委員、星野賢委員、細沼明男委員、 細川年幸委員、武村久仁子委員、増田康太委員、西和江委員、 松永みどり委員、飯田順一委員 (計 14人)
欠席委員	鎌田昌和委員、荒野壽子委員、妙智豊子委員、山本眞由美委員、 隅田由香利委員、大熊啓太委員、藤恵子委員、 (計 7人)
説明員氏名	安形喜代美(健康政策課)、増田奈巳(健康増進センター)、 (計 2人)
議題	(1) 「いろは健康21プラン(第4期)」の概要について 講師 志木市健康づくり市民推進協議会会長 東都大学教授 山下 和彦 氏 (2) いろは健康21プラン(第4期)、食育推進計画(第2期)、 歯と口腔の健康プラン(第2期)の進捗状況について (3) 市民のこころと命を守るほっとプラン(自殺対策計画)の 進捗状況について (4) その他 減らソルトレシピコンテストについて
結果	別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人)
事務局職員	大熊克之(子ども・健康部長)、清水裕子(健康政策課長) 安形喜代美(健康政策課主幹)、小林麻有(健康政策課主査) 宮原正卓(健康政策課主事)、大野広幸(健康増進センター所長) 増田奈巳(健康増進センター主任)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ 香川武文市長

4 委員自己紹介・職員自己紹介

5 協議会の概要説明

6 会長・副会長選任 山下和彦会長、中村勝義副会長が選任

7 会長・副会長あいさつ

8 議 題

(1) 講義 「いろは健康21プラン（第4期）」の概要について

(2) いろは健康21プラン（第4期）、食育推進計画（第2期）、歯と口腔の健康プラン（第2期）の進捗状況について

－ 事務局（健康政策課）より説明 －

(3) 市民のこころと命を守るほっとプラン（自殺対策計画）の進捗状況について

－ 事務局（健康増進センター）より説明 －

《質疑応答》

委 員：比較的若い30代40代から自殺死亡率が高い状況にある。市ではさまざまな取組が行われているが、土・日に相談できる“まちなか保健室”の利用率が高まればと考えている。実際、どのくらいの利用があるのか。

事務局：コロナ禍のこともあり昨年度は2件、元年度は10件だった。周知はいろいろと実施しており、電話での相談から平日の来所相談につながるケースもある。今年度も申込制で土日に実施するが、まちなか保健室に限らず相談を継続していく。

会 長：まさに、ほっとプラン概要版4ページ目の住民への普及啓発の部分。実際には子どもの自殺願望が多いこともわかっている。子どもを対象とした教育授業も行われているが、「たすけて」という気持ちを発することは実はとても難しいので、しっかりサポートできればと考えている。

(4) その他 減らソルトレシピコンテストについて

－事務局（健康政策課）より報告－

会 長：次回の会議では、それぞれの団体から“自分たちの活動にはどんな参加者がいて、健康づくりという観点からどのような成果をあげているのか”など、アウトプット、アウトカムという両方の視点で活動状況をお話しいただきたい。

また、専門職の方には、“本計画推進に向けてどのように事業を進めているか”などお話しいただきたい。次回までの宿題としてお願いしたい。

最後に一つ、日本の脅威は“迷惑をかけるな”という教育だと考えている。一方、海外では“迷惑をかけてもいい。掛け合いながら学ぶ”という教育。我々にはマインドチェンジが必要であると考えます。例えば認知症だからと言って閉じ込めるのではなく、ちょっとおかしいところがあるのが認知症と捉え、切符の買い方がわからないなら教えてあげればいい。閉じ込めるのではなく支えあっていけばいいのではないかと。

ぜひ、このような考え方も一つの参考に、皆さんで話し合いながら地域の健康づくりを考えていきたいので、よろしくお願ひしたい。

事務局：今回の委員の任期は令和5年5月末までの2年間である。来年度は5期目の計画策定準備の時期にあたり市民アンケートもあるため、会議回数も増える予定である。

本年度は、あと1回の会議を予定している。日時が決まったら早めにお知らせする。